

《まめ知識》



とうもろこしのプラスチック

2007年1月

「生分解性プラスチック」という言葉を聞いたことがありますか？

私たちが普段使っている、石油から作られるプラスチックは、その製造過程の中で有害物質が発生したり、廃棄後も分解されにくいという、環境に対しての大きな問題がありました。

そこで、現在注目されているのが「生分解性プラスチック」という、穀物のデンプンから作られるプラスチックです。

主にトウモロコシのデンプンを原料として製造され、このプラスチックは廃棄後、土の中で水と二酸化炭素に分解されます。そこで発生した二酸化炭素は、再び植物に取り込まれ、デンプンがつくれます。原料が植物性であるため、石油資源の節約にもなります。



生分解性プラスチックの普及率は、まだまだ微々たるものですが、環境にやさしいプラスチックとして、これから先普及していくことが期待されています。弊社でも、2004年にISO14000シリーズ“環境管理システム”の認証を取得し、『環境保全に自ら対応して発信する企業たること』というスローガンを掲げ、環境保全に積極的に取り組んでいます。

Copyright(c) 2006 OKAYAMA CO., LTD. All Right Reserved



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目32番7号

TEL 03-5688-6700 / FAX 03-5688-6709 [E-MAIL okayama@kk-okayama.co.jp](mailto:okayama@kk-okayama.co.jp)